

大阪城公園における実証事業支援 第1号案件に 「超小型モビリティ用ワイヤレス充電システムの実証実験」が決定！

■ 要旨

株式会社ダイヘンは、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成する「実証事業検討チーム」^{※1}が募集していた「大阪城公園における実証事業」の第1号案件として、「超小型モビリティ^{※2}用ワイヤレス充電システムの実証実験」を実施いたします。

今回の実証試験では、本充電システムを大阪城公園事務所横に設置し、公園職員による園内巡回や設備の点検等に利活用されます。実証で得られた各種データを計測・分析し、バッテリー容量の最適化、コスト低減や環境負荷低減効果等の検証に役立ててまいります。

■ 背景

EVの普及には航続距離の延長、充電インフラ整備、コスト低減などの課題解決や利用者の利便性向上が不可欠であると考えられています。また、自動運転技術の実用化への流れなどから、人手が必要な有線充電だけでなく、ワイヤレスによる充電技術も求められています。

当社はワイヤレス充電機能の搭載車両として、今後社会への早期普及が見込まれる超小型モビリティに着目し、2018年5月に超小型モビリティ用ワイヤレス充電システム“D-Broad CHARGING DOCK”の発売を開始いたしました。

この度、「大阪城公園における実証事業」の第1号案件として、超小型モビリティ用ワイヤレス充電システムの実証実験を行い、ワイヤレス充電の利便性周知、EVの普及拡大への道筋をつけるとともに、大阪が目指す蓄電池ビジネスの活性化にも貢献します。

■ 実証の概要

車両に搭載した遠隔モニタシステムから車両の利用実態（消費電力、充電頻度、充電時間、バッテリー残量等）をオンラインで取得し、分析^{※3}します。取得したデータはバッテリー容量の最適化や充電システムの最適配置の把握などに役立てます。

設備：①超小型モビリティ「ジャイアン」^{※4} 1台

②ワイヤレス充電システム「D-Broad CHARGING DOCK」^{※5} 1式（必要に応じて追加の予定）

設置場所：大阪城公園事務所横

車両走行場所：大阪城公園内

実験期間：平成30年12月10日～平成31年1月31日

（プレ実験：平成30年10月29日～11月2日）

■ 今後の展開

総面積105.6ヘクタールもの広大な大阪城公園において効果的であると実証できれば、他の地方自治体や観光地での事業へ展開でき、EVインフラ事業の拡大が期待できます。

本実証試験同様、移動範囲に限られる運用が確立することで、離島や観光地などにおけるカーシェアリングやレンタルなど、利用者の足となるような用途での活用へ繋がります。

■ お問い合わせ先

株式会社ダイヘン 技術開発本部 企画部 TEL：06-4977-6727 FAX：06-6308-0977



■ 注釈

※1 実証事業検討チーム

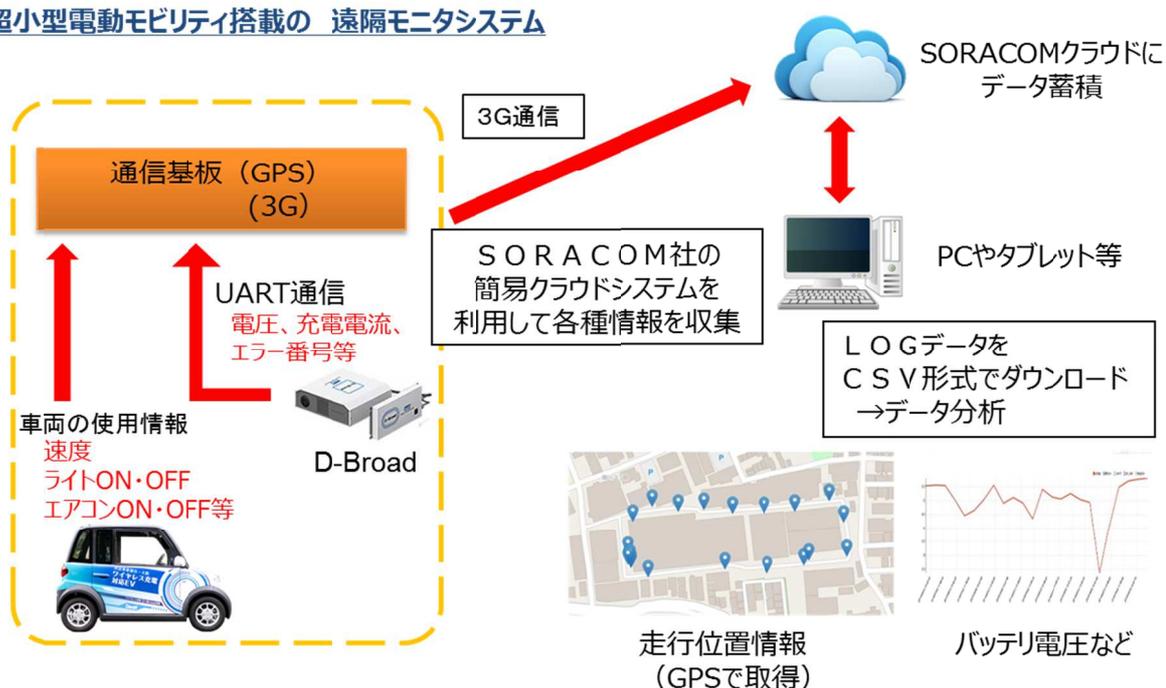
大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成され、先端技術を活用した実証事業の実施・成果普及を通じた産業振興、地域経済の一層の活性化を目的に設置されました。実証実験への支援は、大阪における新たなビジネス創出を目的に順次実施される予定です。

※2 超小型モビリティ

コンパクトな車で、1人～2人乗りの車両。国土交通省が公道走行を可能とする認定制度を設けています。

※3 データ取得方法の概要

超小型電動モビリティ搭載の 遠隔モニタシステム



※4 当社製受電ユニットおよび受電コイルを搭載したタジマEV社製の「ジャイアン」

超小型電動モビリティ「ジャイアン」

- ・2人乗り(ラゲージスペース有り)
- ・ドア、エアコンあり(風雨、季節変化に強い)
- ・最高速度: 45km/h
- ・一充電走行距離: 90km
- ・充電時間(700W利用時): 10時間(6分充電/1km走行)





※5 電動の超小型モビリティに特化した“停めるだけで充電ができる”「チャージングドック」
イメージ図

超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システム「D-Broad CHARGING DOCK」

- 非接触式、700W（非常用に100Vコンセントの有線式で充電可能）
- 駐車後に自動で超小型モビリティへの充電を開始
 - ✓電源ケーブルの接続忘れの懸念なし
 - ✓充電の手間を省力化
- 乗用車向けに比べて、機器コスト、設置コストともに低価格

